

本物の幸せを得るには

「エホバを畏れる人は皆、幸せだ。その人は神の道を歩む」。詩編 128:1

110 番の歌 「エホバからの喜び」

何を学ぶか*多くの人は、**本物の幸せを見いだせず**にいます。それは、富や快樂や名声や権力といった間違ったところに幸せを求めているからです。でもイエスは、地上にいた時、**どうすれば本物の幸せを得られるか**を人々に教えました。この記事では、本物の幸せを得る上で**助けとなる3つのステップ**を考えます。

1. 人間はどんな願いを持つものとして造られましたか。その願いと幸福にはどんな関係がありますか。

本物の幸せとは、**一時的な楽しい気持ちではなく、ずっと続く**ものです。どうしてそう言えるのでしょうか。イエスは山上の垂訓の中で、「**神の導きが必要であることを自覚**している人たちは**幸福です**」と言いました。（**マタ 5:3**「**神の導きが必要であることを自覚**している人たちは**幸福です**。天の王国はその人たちのものだからです」）**イエスは、人間が創造者であるエホバ神を知って崇拝したいという強い願いを持つものとして造られた**ことを知っていました。人間はそのようなものとして造られたので、「**神の導きが必要**」なのです。また、エホバは「**幸福な神**」なので、**エホバを崇拝する者たちも幸福に**なれます。（**テモー 1:11** **その教えは幸福な神の素晴らしい良い知らせと一致しており、私はその良い知らせを託されました**）



「**正しいことをして迫害されてきた人たちは幸福**です」。（マタ 5:10）（2-3 節を参照。）

***写真や挿絵:** 逮捕され、法廷に連れていかれている 1 人の兄弟を、仲間の兄弟姉妹が見守っている。（再現）

2-3. (ア) イエスによると、どんな人さえ幸福になることができますか。（イ）この記事ではどんな点を考えますか。そうする必要があるのはなぜですか。

2 (ア)理想的な環境や状況でなければ、幸せになれないのでしょうか。そうではありません。イエスは山上の垂訓の中で、驚くようなことを言いました。自分の罪や難しい問題のために「嘆き悲しむ人たち」も幸福になれる、と述べたのです。そして、「正しいことをして迫害されてきた人たち」やイエスの弟子であるために「非難され」る人たちも幸福になれる、と言いました。(マタ 5:4 嘆き悲しむ人たちは幸福です。慰められるからです、10、11 正しいことをして迫害されてきた人たちは幸福です。天の王国はその人たちのものだからです。11 私のために非難(*侮辱)され、迫害され、悪意のあるうそをいろいろ言われるとき、あなたたちは幸福です) では、そうした状況の中で、どうすれば本物の幸せを得ることができるのでしょうか。

3 イエスの教えによると、本物の幸せは理想的な環境や状況から来るものではありません。神を知って崇拝したいという願いを満たし、神に近づくことから来るのです。(ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください) (イ)では、そうするために私たちには何ができるのでしょうか。この記事では、本物の幸せを得る上で助けとなる 3つのステップを考えます。

信仰を養う食物を取り入れる

4. 本物の幸せを得るための最初のステップは何ですか。(詩編 1:1-3)

4 ステップ 1: 本物の幸せを得るには、信仰を養う食物を取り入れる必要がある。人間も動物も、生きていくためには文字通りの食物を取り入れる必要があります。とはいえ、信仰を養う食物を取り入れることができるのは人間だけです。そして、人間にはそれが必要です。だからこそイエスは、「人は、パンだけではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きなければならない」と言いました。(←マタ 4:4) それで、私たちは神の貴重な言葉である聖書を読まずに 1 日を終えるようなことがあってはいけません。詩編作者も、「エホバの律法を喜び、昼も夜も小声で読む」人は幸せだ、と言いました。(詩編 1:1-3 何と幸せなのだろう。悪人の意見に従って歩まず、罪人の道に立たず、あざける人と共に座らない人は。2 その人はエホバの律法を喜び、昼も夜も小声で読む(*思い巡らす)。3 水の流れのほとりに植えられた木のようになり、時期が来ると実を結び、その葉は枯れない。行うことは全て成功するを読む。)

5-6. (ア) エホバは聖書を通してどんなことを教えてくれていますか。(イ) 聖書を読むことはどんな面で助けとなりますか。

5 (ア) エホバは私たちのことを愛しているので、どうすれば幸せに生きられるかを聖書を通して教えてくれています。例えば、人生の目的、エホバに近づいたり罪を許していただいたりするためにできること、エホバが与えてくださっている将来の素晴らしい希望などです。(エレ 29:11 エホバはこう宣言する。『私は、あなたたちのために自分が行おうとしている(*考えている)ことをよく知っている。あなたたちに災いではなく平和をもたらし、良い将来と希望を与えたいと思っている) (イ) 私たちは聖書からこうしたことを学んでいるので、喜びにあふれています。

6 聖書には、毎日の生活に役立つアドバイスもたくさん収められています。それに従う時、幸せになることができます。問題にぶつかって気分が落ち込む時にはいつでも、聖書を読んでじっくり

り考えるためにさらに時間を用いるようにしましょう。イエスはこう言いました。「**神の言葉を聞いて守っている人たちこそ幸福**です！」（←[ルカ 11:28](#)）

7. 聖書を読む時間を最大限に活用するために、何ができますか。

7 聖書を読む時には、**読んだ内容を時間を取って味わう**ようにしましょう。次のような経験はありませんか。あなたの大好きな料理を誰かが作ってくれたとしましょう。でも、**時間がないか考**え事をしていたために、**味わうことなくかき込んで**しまいます。そして、**食べ終わった後で、も**っとゆっくり味わって食べればよかった、と思うかもしれません。聖書を読む場合にも同じように、**内容を味わわずに、急いで読んでしまうことがある**かもしれません。ぜひ**時間を取って、情**景や声の調子などを**イメージ**したり、**読んだ内容をよく考え**たりしてください。そうすれば、**い**っそう**幸せに**なることができます。

8. 「忠実で思慮深い奴隷」は、どんな役割を果たしていますか。（脚注も参照。）

8 イエスは、**信仰を養う食物を適切な時に与**えるために、「**忠実で思慮深い奴隷**」を**任命**しました。そのおかげで、私たちは十分に養われています。*「[「ものみの塔」2014年8月15日号の「あなたは『時に応じた食物』を受け取っていますか](#)」という記事を参照：食物の主な材料は聖書。出版物、集会、大会など様々な方法で。言語によって情報が限られていても、jw.orgからの情報得られなくても、時に応じた食物を受け取れる。（[マタ 24:45](#) 主人が、召し使いたちに**適切な時に食物を与えるため**、彼らの上に**任命した忠実で思慮深い奴隷**はいったい誰でしょうか）忠実な奴隷が準備する**食物の主な材料は聖書**です。（[テサー 2:13](#)）この食物のおかげで、私たちは聖書に示されているエホバのお考えをよく知ることができます。だからこそ私たちは、「**「ものみの塔」誌や「目ざめよ！」誌やjw.org**の記事を読みます。また、**週日の集会**や**週末の集会**の**準備**をします。そして、自分の言語で視聴できるなら、JW Broadcasting®のマンスリープログラムを見ます。このように**信仰を強める食物を十分に取り入れる**なら、本物の幸せを得るための**2つ目のステップに進む**ことができます。

エホバの基準に従って生きる

9. 本物の幸せを得るための2つ目のステップは何ですか。

9 **ステップ 2: 本物の幸せを得るためには、エホバの基準に従って生きる必要がある。**詩編作者はこう言いました。「**エホバを畏れる人は皆、幸せだ。その人は神の道を歩む**」。（←[詩 128:1](#)）**エホバを畏れるとは、エホバを深く敬って、エホバが不快に感じることを一切行わないようにする**、ということです。（[格 16:6](#) 揺るぎない愛と忠実さを示すこと（へ語では、神が揺るぎない愛を示して支え続けること、とも読める）によって、**過ちは贖われ、エホバへの畏れによって、人は悪から遠ざかる**）それで私たちは、**聖書に示されている神の善悪の基準に沿った行動**をするよう**努力を続け**ます。（[コリ 2 7:1](#) それで、愛する皆さん、私たちにはこのような約束があるのですから、**体と精神のあらゆる汚れを除き去って自分を清め、神への畏れを抱いて神聖さを完成**させていきましょう）**エホバが愛することを行い、エホバが憎むことを退ける**なら、私たちは**幸せになる**ことができます。（[詩 37:27](#) 悪から離れて善を行え。そうすれば永遠に生きられる。[97:10](#) エホバを愛する人たち、**悪を憎め**。神はご自分に尽くす(*を揺るぎなく支持する/から離れな

い)人たちの命を守っている。その人たちを悪人の手から助け出す。[ロマ 12:9](#)皆さんの愛に偽善があってはなりません。悪いことは憎悪し、善いことにはしっかりと付きましょう)

10. [ローマ 12 章 2 節](#)によると、私たちはどんなことをする必要がありますか。

10 [ローマ 12:2](#)そして、今の体制(*時代)によって形作られるのをやめてください。かえって、考え方を新しくすることによって自分を変化させましょう。それは、神の善い意志、喜ばしい完全な意志を見極めるためですを読む。エホバが善悪の基準を定める権威を持っているということを知っていることも重要ですが、その基準を受け入れて守ることも必要です。例えば考えてみましょう。当局に車の制限速度を決める権威があるということを知っているとしても、そのルールを受け入れていないなら、制限速度を超えて運転してしまうかもしれません。一方、そのルールを心から受け入れているなら、制限速度を守って運転するはず。私たちも、エホバの基準に従うことが最善の結果になると信じていることを、行動によって示すことができます。(格 12:28 正しい道は命に至り、その道筋に死はない)ダビデもエホバの基準が最善だと感じていたので、エホバについてこう言いました。「あなたは命の道を私に知らせてくださる。あなたの前にはあふれる喜びがある。あなたの右には永遠の幸せがある」。(←詩 16:11)

11-12. (ア) 問題にぶつかったり気落ちしたりする時、どんなことに注意する必要がありますか。(イ) [フィリピ 4 章 8 節](#)の言葉は、エンターテインメントを選ぶ上で、どのように助けとなりますか。

11 (ア) 私たちは、問題にぶつかったり気落ちしたりする時に気分転換が必要だと感じるかもしれません。それももつともなことです。とはいえ、エホバが憎むことを行ってしまうように注意する必要があります。(エフエ 5:10-12 何をするにしても、主に受け入れられることかどうかを確かめましょう。11 何も生み出さない闇の行いに関わるのをやめ、そうした行いを暴いてください。12 彼らがひそかに行っているのは、口にするのはばかられる事柄です、15-17 それで、自分の歩み方をしっかり見守りましょう。賢くない人ではなく賢い人のように歩み、16 時間を有効に使って(*良い時を買い取って)ください。今は悪い時代だからです。17 もう無分別なことをしてはなりません。いつでも、エホバ(*)が何を望んでいるかを見極めましょう)

12 (イ)パウロは「フィリピのクリスチャンへの手紙」の中で、「正しいこと、清いこと、愛すべきこと、.....高潔なこと」を考え続けるようにと勧めました。(フィリピ 4:8 最後に、兄弟たち、真実なこと、真面目なこと、正しいこと、清い(*貞潔な)こと、愛すべきこと、立派なこと、高潔なこと、称賛に値することについて、考え(*黙想し)続けてくださいを読む。)ここでパウロは特にエンターテインメントについて述べていたわけではありませんが、この言葉は気晴らしに何をするかを決める時にも当てはまります。この聖句の「こと」という部分に、「歌」、「映画」、「小説」、「ビデオゲーム」といった言葉を当てはめてみてください。そのように考えるなら、どんなものが神に喜ばれ、どんなものが喜ばれないかを見分けることができるでしょう。私たちは、エホバの高い基準に従って生きたいと願っています。(詩 119:1-3 非難されるところがない生き方をする人は幸せだ。その人はエホバの律法に従って歩む。2 神の教え(*思い出させるもの)を守る人は幸せだ。その人は心を尽くして神を探し求める。3 不正を行わず、神の道を歩む)そうするなら、良心にやましさを感ずることなく、本物の幸せを得るための 3 つ目のステップへと進むことができます。(使徒 23:1 パウロはサンヘドリンの人々をじっと見ながら言った。「皆さん、兄弟たち、私は今日まで、神の前で良心に全くやましいところなく行動してきました」)

エホバへの崇拝を第一にする

13. 本物の幸せを得るための3つ目のステップは何ですか。(ヨハネ 4:23, 24)

13 **ステップ 3: エホバへの崇拝を生活の中で第一にする。** エホバは創造者なので、私たちの崇拝を受けるのにまさにふさわしい方です。(啓 4:11 私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されました; 14:6, 7) また私は、別の天使が空高く(d*中天を)飛んでいるのを見た。その天使は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国や民族や言語や種族の人々に伝える、永遠の良い知らせを携えていた。7 天使は大声でこう言った。「神を畏れ、神をたたえなさい。神による裁きの時が来たからです。天と地と海と泉を造った方を崇拝しなさい」) ですから、私たちが何よりも大切にする必要があるのは、エホバが良いと認める方法で、つまり「聖なる力と真理に導かれて」エホバを崇拝することです。(ヨハネ 4:23, 24) とはいえ、真の崇拝者が聖なる力と真理に導かれて父を崇拝する時が来ます。今がその時です。実際、父は、自分をそのように崇拝する人たちを求めています。24 神は目に見えない方であり、神を崇拝する人は聖なる力と真理に導かれて崇拝しなければなりませんを読む。) それで私たちは、聖なる力に導かれて、聖書の真理に沿った崇拝を行いたいと思っています。私たちの活動が禁止されていたり制限されていたりする国に住んでいるとしても、エホバへの崇拝を第一にするべきです。現在、100 人を超える兄弟姉妹が、エホバの証人であるというだけの理由で投獄されています。*詳しくは jw.org 上で「[信仰ゆえに投獄される](#)」(信仰ゆえに投獄されているエホバの証人 国別データ: 国と地域/投獄者数/理由、クリミア/8/宗教活動、エリトリア/20/宗教活動・非開示、ロシア/97/宗教活動、シンガポール/14/良心的兵役拒否、韓国/1/良心的兵役拒否、タジキスタン/1/宗教活動、他の国や地域/27 以上/宗教活動、合計/168 以上) と入力して検索それでも、祈ったり聖書を勉強したり神や王国について伝えたりするために、できる限りのことを喜んで行っています。たとえ非難されたり迫害されたりするとしても、エホバが共にいて報いてくださるということを理解しているなら、幸せでいることができます。(ヤコ 1:12 試練に耐え続ける人は幸いです。神から良いと認められるとき、命の冠を受けるからです。その冠は、エホバ(*)がご自分を愛し続ける人たちに約束したものです。ペテロ 4:14 キリストの名のために非難(*侮辱)されているなら、皆さんは幸いです。栄光ある聖なる力を神から受けているからです)

現代の実例

14. タジキスタンの1人の若い兄弟は、どんなことを経験しましたか。なぜですか。

14 現代のさまざまな実例は、ここまで考えてきた3つのステップを実践するなら、どんな状況でも本物の幸せを得ることができる、ということを示しています。タジキスタンに住むジョビダン・ボボジョノフ兄弟のことを考えてみましょう。2019年10月4日、当時19歳だった兄弟は、兵役を拒否したことを理由に自宅から強制的に連行され、数カ月間留置されました。そこで、犯罪者のように扱われました。このひどい扱いは、ほかの国々にも知られるようになりました。報告によると、ジョビダン兄弟は殴られ、軍に忠誠を誓うよう、また軍服を着るよう圧力を受けました。その後、有罪とされ、刑務所に送られました。そして最終的に、大統領恩赦によって釈放されました。ジョビダン兄弟は、この試練の間じゅうずっと忠誠を保ち、幸せでいることができました。

た。どうしてそうできたのでしょうか。神の導きが必要であることをいつも自覚していたからです。



ジョビダン兄弟は、信仰を養う食物を取り入れ、神の基準に従って生き、エホバへの崇拝を生活の中で第一にした。(15-17 節を参照。)

15. ジョビダン兄弟は投獄されている間、どのようにして信仰を養う食物を取り入れましたか。

15 ジョビダン兄弟は投獄されている間、聖書や出版物を持っていなかったにもかかわらず、信仰を養う食物を取り入れました。どうしてそうできたのでしょうか。地元の兄弟姉妹が食べ物を差し入れる時に、その袋に日々の聖句を書いておいてくれたのです。そのおかげで、ジョビダン兄弟は毎日聖書を読んでじっくり考えることができました。釈放された後、厳しい試練をまだ経験していない人たちにこう勧めています。「自由な時を目いっぱい活用し、聖書と出版物によってエホバについての知識をぜひ深めてください」。

16. ジョビダン兄弟はどんなことを考え続けましたか。

16 ジョビダン兄弟は、エホバの基準に従って生きました。間違った欲望について考えることも、良くないことを行うこともしませんでした。そうするのではなく、エホバやエホバが大切にしていることについて考え続けました。また、エホバの創造物の素晴らしさに感動しました。朝起きると、鳥の歌声や鳴き声が聞こえ、夜には月や星を眺めることができました。こう言っています。「エホバからのこうした贈り物によって、幸せな気持ちになり、力が湧いてきました」。エホバが私たちの信仰や体を養うために与えてくれているものに感謝するなら、喜びを味わうことができます。そして、その喜びは試練を忍耐する力となります。

17. ペテロ第一 1 章 6, 7 節の言葉は、ジョビダン兄弟と似た状況にある人にどのように当てはまりますか。

17 また、ジョビダン兄弟はエホバへの崇拝を第一にしました。真の神への忠誠を貫くことがとても大事だということを理解していたからです。イエスは、「あなたが崇拝すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない」と言いました。(←ルカ 4:8) 司令官や

兵士たちは、兄弟がエホバの証人をやめることを願っていました。でも、兄弟は毎日、昼も夜も熱烈に祈り、諦めずに信仰を保てるよう助けてください、とお願いしました。兄弟は不公正な扱いを受けましたが、妥協することはありませんでした。それどころか、連行され、殴られ、投獄される前には持っていなかった、試された信仰を得ることができて、大いに喜んでいます。（ペテロ第一 1:6, 7 こうしたことを皆さんはとても喜んでいます。しかし、やむを得ないこととして、少しの間さまざまな試練に悩まされてきました。7 そのようにして皆さんの信仰の質は試されます。試された信仰は、火によって試された(*精錬された)金よりもはるかに価値があります。金は試された(*精錬された)ものであっても滅びるからです。そうした信仰を示すなら、皆さんは、イエス・キリストが明らかにされる時に、賛美と栄光と栄誉を受けられますを読む。)

18. どうすれば幸せでいることができますか。

18 エホバは、私たちが本物の幸せを得るのに何が必要かをご存じです。この記事で学んだ3つのステップを実践するなら、私たちは難しい状況にあっても幸せでいることができます。そして、次のように言うことができるでしょう。「エホバを神とする民は幸せです！」（詩 144:15 このようになる民は幸せです！ エホバを神とする民は幸せです！）

以下のステップは、本物の幸せを得る上でどのように助けとなりますか

①ステップ 1: 信仰を養う食物を取り入れる。

- S05 エホバは私たちのことを愛しているので、どうすれば幸せに生きられるかを聖書を通して教えてくれる。例えば、人生の目的、エホバに近づいたり罪を許していただいたりするためにできること、エホバが与えてくださっている将来の素晴らしい希望など
- S06 聖書には、毎日の生活に役立つアドバイスもたくさん収められていて、それに従う時、幸せになれる。問題にぶつかって気分が落ち込む時にはいつでも、聖書を読んでじっくり考えるためにさらに時間を用いるようにする
- S07 聖書を読む時には、読んだ内容を時間を取って味わう。時間を取って、情景や声の調子などをイメージしたり、読んだ内容をよく考えたりする
- S08 忠実な奴隷が準備する食物の主な材料である聖書、また他の出版物や集会、大会、ブロードキャスティングなどの信仰を強める食物を十分に取り入れる

②ステップ 2: エホバの基準に従って生きる。

- S10 エホバの基準に従うことが最善の結果になると信じていることを、行動によって示す
- S11 問題にぶつかったり気落ちしたりする時に気分転換が必要だと感じても、エホバが憎むことを行ってしまわないように注意する
- S12 正しいこと、清いこと、愛すべきこと、……高潔なことを考え続け、エホバの高い基準に従って生きたいと願っているなら、良心にやましさを感じることはない

③ステップ 3: エホバへの崇拝を第一にする。

- S13 私たちの活動が禁止されていたり制限されていたりする国に住んでいるとしても、エホバへの崇拝を第一にできる。祈ったり聖書を勉強したり神や王国について伝えたりするために、できる限りのことを喜んで行うなら、たとえ非難されたり迫害されたりするとしても、エホバが共にいて報いてくださるということを理解して幸せでいられる。
- S17 連行され、殴られ、投獄される前には持っていなかった、試された信仰を得ることができて、大いに喜べる

89 番の歌 聞いて従い、神の祝福を得る